

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月17日

計画の名称	人と自然がきらめき安心して暮らせる生活創造都市光市の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	光市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	135	A	135	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	下水道処理人口普及率を80.2%（H30）から80.9%（H31）に増加させる。 下水道処理人口普及率 処理可能人口（人）/行政区域内人口（人）	802‰	‰	809‰
2	汚水処理の共同化に係る計画策定率を0%（H30）から100%（H31）に増加させる。 汚水処理の共同化に係る計画策定率 汚水処理共同化計画策定済の計画数（数）/汚水処理共同化計画を策定すべき計画数（数）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	光市	直接	-	管渠(汚水)	新設	汚水管渠整備事業(周南処理区)	汚水枝線 1.8ha	光市						129	-	
	A07-002	下水道	一般	光市	直接	-	管渠(汚水)	新設	汚水管渠整備事業(周南処理区)	調査・詳細設計	光市						0	-	
	A07-003	下水道	一般	光市	直接	-	-	新設	共同化施設整備事業(周南処理区)	計画策定	光市						6	-	
												小計						135	
												合計						135	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 光市環境部下水道課内にて、事後評価を実施	事後評価の実施時期 事業終了後（令和2年度）
	公表の方法 光市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備面積は971.1ha（平成29年度末）から971.9ha（平成31年度末）、普及率は80.4%（平成29年度末）から81.0%（平成31年度末）に向上したことにより、新たに約0.8haの区域の水環境及び住環境が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き面整備管のうち主要な管渠の整備を促進し下水道整備率を向上させていく。また、し尿と下水の共同処理による汚水処理の安定的な事業運営を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率 処理可能人口（人）/行政区域内人口（人）	
	最終目標値	809‰
	最終実績値	810‰
2	汚水処理の共同化に係る計画策定率 汚水処理共同化計画策定済の計画数（数）/汚水処理共同化計画を策定すべき計画数（数）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%